

本日の講演会の主旨

(公財) 仙台応用情報学研究振興財団
野口正一

- ・国際競争力が静かに沈んでゆく日本
- ・日本再生のための基本問題を皆様と共に考える

日本の国としての競争力の現状

IMD (International Institute for Management Development スイス)による
2022年6月のレポート

競争力の順位

1位 デンマーク

2位 スイス

3位 シンガポール

⋮
7位 台湾

⋮
15位 ドイツ

⋮
17位 中国

⋮
34位 日本 (日本は1989~1992年間は1位)

1IMFの報告 日本人一人当たりのGDPは32位

何故日本の競争力は低下したのか

1. 21世紀を牽引する新産業創出の欠如
2. 旧態依存のビジネスの大きい存在
3. 世界的に見て低い生産性
(積極的なDX化の遅れ)
4. アジア諸国の急速な台頭

革新的なIT基盤を持つ新産業の創出

Ex.

1. 半導体産業の革新的な復活
2. SDGsを解決する新産業
3. Life Scienceをベースとした新産業

特に重課題

新しい半導体産業の創出

1. 国家の基盤を支える産業
2. 10年後世界で150兆円を超すビジネス(予測)
3. 日本には基盤となる戦略がない
(国家Project Rapidus成功の可能性は?)

日本の未来に大きく期待できるか



日本発展の可能性は大きい

1. 高度な研究開発者の存在
2. 高品質の製品を生み出す高度な技術力
3. 高度な社会インフラの存在と支える人材
 - ・世界経済フォーラム2019年のレポート
日本の研究・開発競争力は1位を確保
 - ・欠如しているもの: 強力な国家戦略がないこと



仙台から産学官金連携のもとで

新しい産業を創出しよう